

技術の名称

業務状況可視化システム

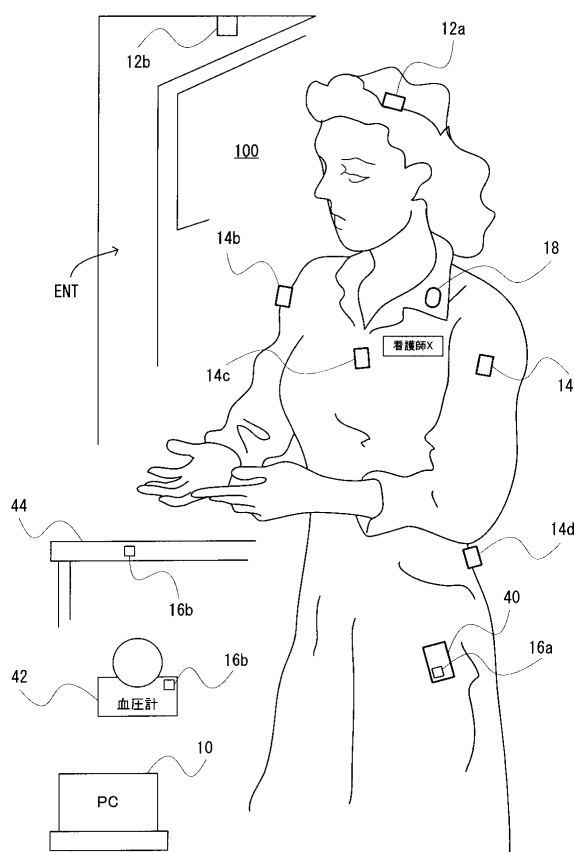
適用分野

病院、診療所などの医療現場、工場、作業場などの作業現場

- 目的 作業員、例えば看護師が患者に施す医療行為を時間の経過と共に記録して医療行為の実施履歴を可視表示する。
- 効果 本発明によれば、看護師の医療行為の履歴が可視表示されるので、看護師長などの監督者が看護業務の進捗状況を見ながら、看護業務の割り振りを変更したり、停滞業務の督促を行ったりして看護業務の効率化を図ることができる。

- 技術概要、特記事項、図など

看護師のナースハットなどに取り付けられた赤外線発信器と病室や廊下などに設けられた赤外線センサ12から看護師の現在位置を検知すると共に、看護師の身体各所に装着された動きセンサ14並びに医療機器と看護師との間での近接センサ16と更に看護師が発する音声を取得するマイクフォン18とによって看護師の現在実行中の看護業務を把握し、それらの現在位置と看護業務とを時刻情報と共に記録し、可視表示する。



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 業務状況可視化システム

登録番号

出願番号 : 特願2009-071587

公開番号 :

出願日 : 平成21年 3月24日

- 実施実績 ○有、 無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp